

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画】

不測の事態により長期化】

一定の治水効果をあげるためには、1,780mの河道改修延長が必要になることから、長期計画となっている。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・現在、延長ベースでの進捗が12%となっているが、難航していた工場の用地買収について、H21年度に協力が得られたことから、今後、事業が順調に進捗する予定であり、事業計画やスケジュールの変更なしで事業を進めたい。
- ・流下能力を向上させ、浸水被害の軽減を図ることを目的としている。
- ・沿川の都市化が進み、重要交通も横断していることから、改修の必要性は非常に高い。
- ・引き続き、流下能力が最も小さいネック部の河道拡幅を進め、改修効果の早期発現に努めたい。